

VIII 災害支援ナースの活動の実際

1 要請時

- 1) 家族の了解を得、上司に出動可能の返事をする。
- 2) 必要時、派遣中の仕事の調整をする。
- 3) 災害支援出動に際し、心の準備をする。

2 派遣決定時

- 1) 支援活動中の身分保障の取り扱いについて確認をする。
- 2) 活動場所・期間について確認し、現地までの交通手段について指示を受ける。
- 3) 被災地の情報を確認し、最新の情報を収集しておく。
- 4) 必要物品を整え、出動する。

(1) 本協会が準備する物品

	備 品 名
身 分 装 備 品	身分証明書
	協会ジャケット・ベスト・キャップ
	ヘルメット・ヘッドライト
	リュックサック・寝袋（シュラフ・マット）
	防寒衣、保温シート・雨合羽
医 療 用 品	電子体温計・電子血圧計・聴診器
	ペンライト・ハサミ・爪切り
	マスク・医療用ゴム手袋・予防衣
	手指消毒薬・カットバン
活 動 用 品 ・ 消 耗 品 等	携帯用ラジオ・現地地図・バインダー・筆記用具
	災害支援ナース活動日誌（活動様式1）
	災害支援ナース活動報告書（活動様式2）
	懐中電灯・予備電池
	軍手・タオル・ナイロン袋・ビニール袋
	ティッシュペーパー・ウェットティッシュ
	ライター・ガムテープ・輪ゴム・裁縫セット
	携帯食・飲料水
	テレフォンカード

(2) 個人が準備するもの

生活に必要なもの	衣	下着・長袖シャツ・ソックス
		トレーニングウェア・スラックス
		履きなれた靴・上履き・帽子
	食	糖分補給用捕食
		ビタミン・カルシウム食品
住	洗面用具・タオル・時計	
携行用品等	常備薬（風邪薬・うがい薬・消炎鎮痛剤等）	
	虫よけスプレー・カイロ	
	運転免許証・健康保険証	
	印鑑	
	携帯電話（充電器）	
	小銭	

3 現地への移動・着任・活動

1) 移動

- ①指定された場所に集合する。
- ②現地に向かうには最新の交通情報を収集し、公共交通機関でたどり着ける所まで行く。その後は徒歩で目的地へ向かう。

2) 着任

- ①支援を要請した機関、施設からの指示に従って活動する。なお、オリエンテーションは無いこともある。
- ②活動期間中の、要請機関の連絡担当者を確認する。

3) 活動中

- ①支援内容は期間の経過に伴って被災地のニーズが変化していくので、自分の目でニーズを把握し、どんな支援活動が必要かを決める。
- ②他のボランティアと連携、調整を行いながら支援活動を行う。
- ③活動日、活動範囲、活動内容、休憩場所などの確認をする。
- ④活動日誌は基本的には現地の作成様式分を使用する。無い場合は本協会作成の災害支援ナース活動日誌（活動様式1）を使用し、毎日記載する。
- ⑤1日に1回は本協会に連絡を入れ報告を行なう。（安否確認）
- ⑥災害支援ナース自身の心身の健康管理を行う。
 - ・休憩を必ず取る。
 - ・栄養をきちんと取る。
 - ・気分転換を図る。
 - ・自分自身の安全を確保する。
- ⑦後任者への引継ぎを行う。

4 活動終了時

- ①災害看護活動の終了を本協会に報告する。
- ②後日、災害支援ナース活動報告書（活動様式2）を提出する。
- ③本協会が主催する災害支援ナース活動報告会に出席し報告する。